



日本マニュファクチャリングサービス株式会社

JASDAQ 2162

2013年3月期 第3四半期

決算説明資料

2013年2月14日



これまでにない「新しいモノづくりソリューション企業」として

新・事業戦略コンセプト neo EMS
(進化型のEMS)

をグローバルに展開し、企業価値を増大

- ◆2013年3月期 第3四半期 業績ハイライト P 3
- ◆2013年3月期 通期業績予想 P 12
- ◆第3四半期の成果・トピックス P 21

(参考資料)中期経営計画抜粋

2013年2月14日に中期経営計画を公表しております。
詳細は当社ホームページをご参照ください。

* 金額は四捨五入にて百万円単位で表示しております。そのため決算短信、四半期報告書と一致しない場合があります。



2013年3月期 第3四半期 業績ハイライト





グループ業績は当初予想を下回るが 前年同期比では増収増益

前年同期比：売上高+37.3%

営業利益+425.6%

- ✓ TKRは2012年7月に子会社化したため、**前期と比較しTKRの業績が貢献**
- ✓ 志摩電子工業が3月決算から12月決算に変更となりました。そのため志摩日本、志摩香港の第1四半期に該当する1月～3月の業績は既に2012年3月期に計上されているため、今期の第1四半期業績には含まれておりません

2013年3月期 第3四半期 業績ハイライト (P/L)

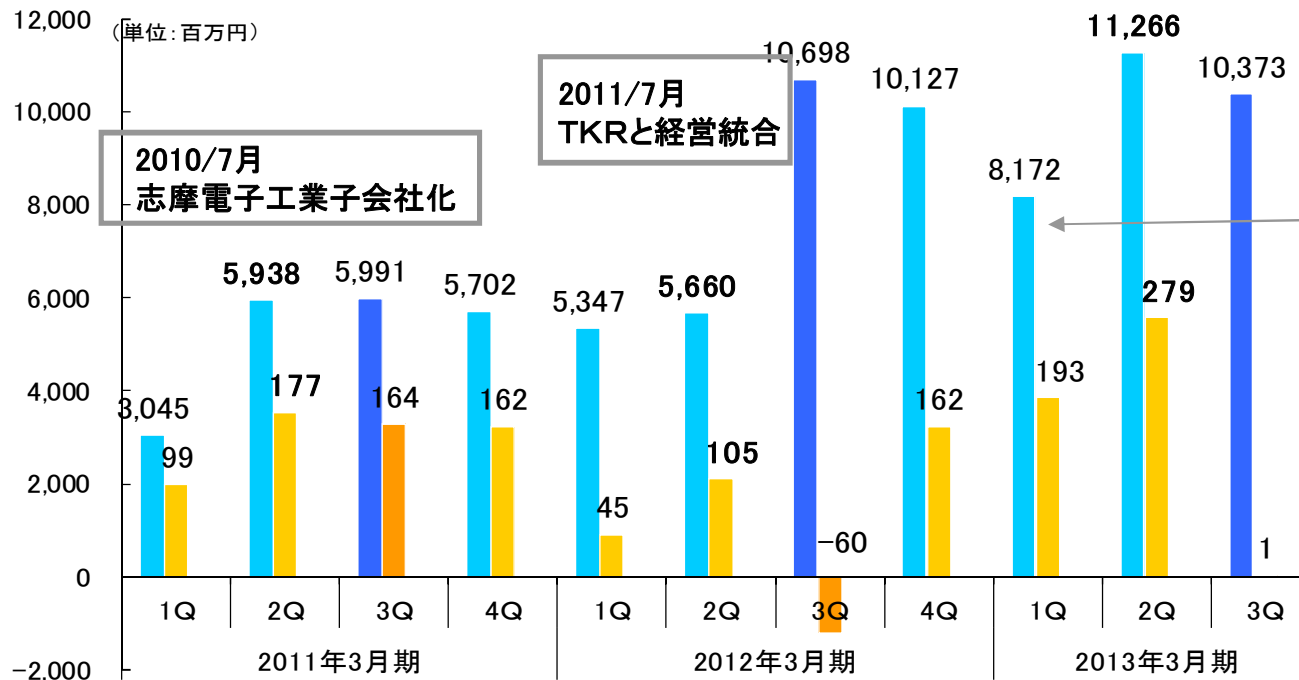
前年同期比：売上高+37.3%、営業利益+425.6%

項目/決算別 (単位:百万円)	第3四半期				第3四半期(累計)			
	前年同期	実績	差異	前期比	前年同期	実績	差異	前期比
売上高	10,698	10,373	▲325	▲3.0%	21,705	29,811	8,106	+37.3%
売上総利益	1,033	1,037	4	+0.4%	2,348	3,654	1,306	+55.6%
(売上総利益率)	9.7%	10.0%	0.3%	-	10.8%	12.3%	1.4%	-
販売管理費	1,093	1,037	▲56	▲5.1%	2,258	3,182	924	+40.9%
(販売管理费率)	10.2%	10.0%	▲0.2%	-	10.4%	10.7%	0.3%	-
営業利益	▲60	1	61	-	90	473	383	+425.6%
(営業利益率)	▲0.6%	0.0%	0.6%	-	0.4%	1.6%	1.2%	-
経常利益	▲72	▲44	28	-	12	417	406	+3,526.1%
(経常利益率)	▲0.7%	▲0.4%	0.3%	-	0.1%	1.4%	1.3%	-
四半期純利益	▲31	▲41	▲10	-	1,243	160	▲1,083	▲87.1%
(四半期純利益率)	▲0.3%	▲0.4%	▲0.1%	-	5.7%	0.5%	▲5.2%	-

四半期別 業績推移

**営業利益は長引いた円高、世界経済動向、反日デモ等により
第3四半期会計期間において減少**

	2011年3月期				2012年3月期				2013年3月期		
(単位:百万円)	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
売上高	3,045	5,938	5,991	5,702	5,347	5,660	10,698	10,127	8,172	11,266	10,373
営業利益	99	177	164	162	45	105	-60	162	193	279	1



(注) 1Q業績について

志摩電子工業が12月決算に変更

志摩日本、志摩香港の第1四半期に該当する1月～3月の業績は当期の第1四半期に含まれておりません

志摩日本、志摩香港の第1四半期の業績は既に2012年3月期に計上されております

一過性の要因(震災等)により営業利益マイナス

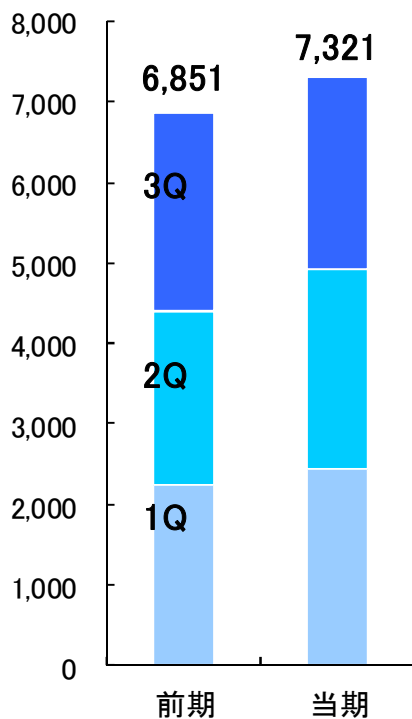
2013年3月期 第3四半期 事業別業績ハイライト(売上高)

IS事業

インラインソリューション事業

前年同期比人数が減少
となるも売上高+7%の
成長

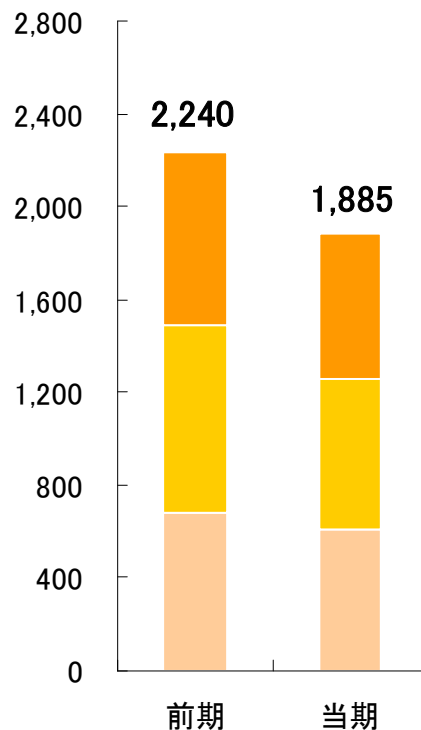
(単位:百万円)



CS事業

カスタマーサービス事業

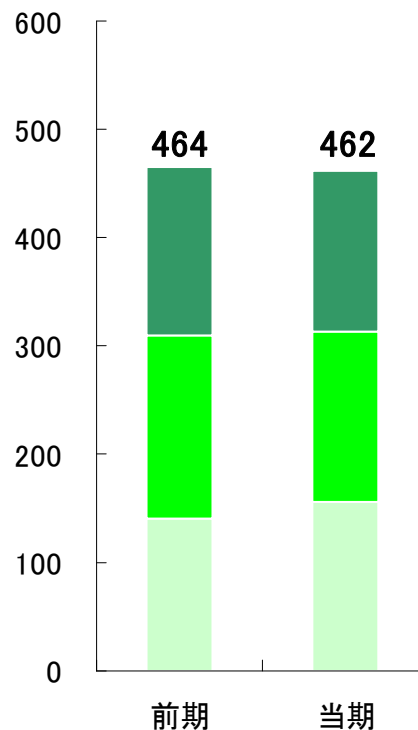
既存事業の修理台数減少、
新規案件の未獲得により
売上高減少



GE事業

グローバルエンジニアリング事業

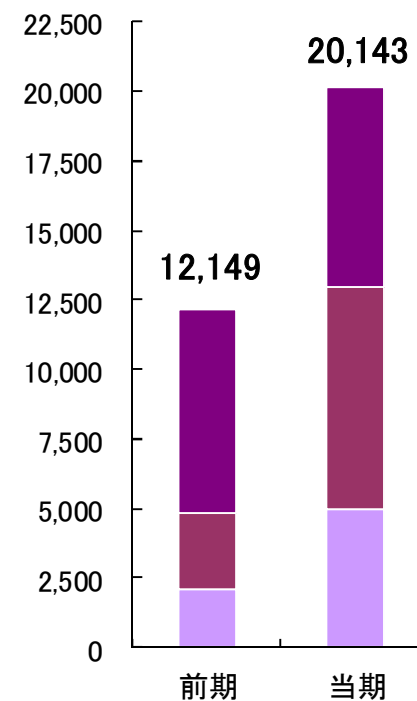
前年同期比ほぼ横ばいの
売上高を維持



EMS事業

エレクトロニクス
マニュファクチャリングサービス事業

前年同期比売上高+66%
の成長



2013年3月期 第3四半期 事業別業績ハイライト

IS事業

インラインソリューション事業

決算期 項目	第3四半期				第3四半期(累計)			
	前年同期	実績	差異	前期比	前年同期	実績	差異	前期比
売上高	2,444	2,385	▲ 59	▲2.4%	6,851	7,321	470	+6.9%
(構成比)	22.8%	23.0%	0.1%	-	31.6%	24.6%	▲7.0%	-
セグメント利益	▲ 42	▲ 61	▲ 19	+45.2%	0	▲ 59	▲ 59	-
(セグメント利益率)	-	-	-	-	-	-	-	-
現場社員数(人)	2,700	2,688	▲ 12	▲0.4%	2,700	2,688	▲ 12	▲0.4%

CS事業

カスタマーサービス事業

決算期 項目	第3四半期				第3四半期(累計)			
	前年同期	実績	差異	前期比	前年同期	実績	差異	前期比
売上高	749	627	▲ 122	▲16.3%	2,240	1,885	▲ 355	▲15.8%
(構成比)	7.0%	6.0%	▲1.0%	-	10.3%	6.3%	▲4.0%	-
セグメント利益	71	57	▲ 14	▲19.7%	174	113	▲ 61	▲35.1%
(セグメント利益率)	9.5%	9.1%	▲0.4%	-	7.8%	6.0%	▲1.8%	-
現場社員数(人)	709	584	▲ 125	▲17.6%	709	584	▲ 125	▲17.6%

* 前年同期のIS、CS、GE事業のセグメント利益は間接費用の配分がされたものを記載しております

2013年3月期 第3四半期 事業別業績ハイライト

GE事業

グローバル
エンジニアリング事業

決算期 項目	第3四半期				第3四半期(累計)			
	前年同期	実績	差異	前期比	前年同期	実績	差異	前期比
売上高	155	149	▲ 6	▲3.9%	464	462	▲ 2	▲0.5%
(構成比)	1.4%	1.4%	▲0.0%	-	2.1%	1.5%	▲0.6%	-
セグメント利益	3	11	8	+266.7%	0	14	14	-
(セグメント利益率)	1.9%	7.4%	+5.4%	-	0.0%	3.0%	+3.0%	-
現場社員数(人)	110	105	▲ 5	▲4.5%	110	105	▲ 5	▲4.5%

EMS事業

エレクトロニクス
マニュファクチャリング
サービス事業

決算期 項目	第3四半期				第3四半期(累計)			
	前年同期	実績	差異	前期比	前年同期	実績	差異	前期比
売上高	7,350	7,214	▲ 136	▲1.9%	12,149	20,143	7,994	+65.8%
(構成比)	68.7%	69.5%	0.8%	-	56.0%	67.6%	11.6%	-
セグメント利益	▲ 91	▲ 5	86	-	▲ 83	403	486	-
(セグメント利益率)	-	-	-	-	-	2.0%	-	-

* 前年同期のIS、CS、GE事業のセグメント利益は間接費用の配分がされたものを記載しております

2013年3月期 第3四半期 業績ハイライト (B/S)

総資産18,209百万円、純資産6,134百万円

項目/決算別 (単位:百万円)	2012年3月期		2013年3月期	
	(12/3末)	(12/12末)	増減	前期末比
資産合計	18,710	18,209	▲ 501	▲ 2.7%
流動資産	13,036	12,773	▲ 263	▲ 2.0%
固定資産	5,673	5,435	▲ 238	▲ 4.2%
負債	12,870	12,074	▲ 796	▲ 6.2%
流動負債	10,230	10,413	183	+1.8%
固定負債	2,641	1,662	▲ 979	▲ 37.1%
純資産	5,839	6,134	295	+5.1%
資本金	501	501	0	+0.0%
資本剰余金	231	231	0	+0.0%
利益剰余金	2,828	2,947	119	+4.2%
その他	2,279	2,455	176	+7.7%
負債・純資産合計	18,710	18,209	▲ 501	▲ 2.7%

流動資産 前期末比▲263万円

受取手形及び売掛金 +460百万円

現金及び預金▲179百万円

有価証券 ▲326百万円、製品▲152百万円

固定資産 前期末比▲238百万円

無形固定資産 +139百万円

有形固定資産 ▲113百万円

投資その他資産 ▲263百万円

流動負債 前期末比+183百万円

支払手形及び買掛金 ▲352百万円

短期借入金 +562百万円

固定負債 前期末比▲979百万円

長期借入金 ▲877百万円、社債▲50百万円

資本金 前期末比±0百万円

変動なし

資本剰余金 前期末比±0百万円

変動なし

利益剰余金 前期末比+119百万円

その他

少数株主持分 +159百万円

2013年3月期 第3四半期 業績ハイライト (C/F)

自己資本比率が改善

<C/F>

項目/決算別 (単位:百万円)	2012年3月期 第3四半期連結累計期間	2013年3月期 第3四半期連結累計期間	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	27	▲ 115	▲ 142
投資活動による キャッシュ・フロー	757	147	▲ 610
財務活動による キャッシュ・フロー	1,705	▲ 421	▲ 2,126
現金及び現金同等物に係る 換算差額	▲ 71	▲ 1	70
現金及び現金同等物の 増減額	2,417	▲ 390	▲ 2,807
現金及び現金同等物の 期首残高	1,712	3,873	2,161
現金及び現金同等物の 四半期末残高	4,130	3,484	▲ 646

<主な指標>

項目/決算期	2012年3月期	2013年3月期 第3四半期連結会計期間	増減
自己資本比率(%)	17.9	19.1	1.2

項目/決算期	2012年3月期 第3四半期連結累計期間	2013年3月期 第3四半期連結累計期間	増減
1株あたり四半期純利益 (円)	12,455.45	1,562.10	▲ 10,893.35



2013年3月期 通期業績予想

注意点: 志摩グループの決算期の変更について

志摩グループの決算期を3月から12月に変更をしたため、2013年3月期の業績予想については以下が注意点となります。

- 2013年3月期は志摩日本および香港の期間損益は4月～12月の9ヶ月分の計上となります。
- 志摩日本および香港の第1四半期に該当する2012年1月～3月の損益は2012年3月期に計上されているため、2013年3月期の第1四半期には志摩日本および香港の損益は計上されません。なお、志摩マレーシアについては当初より12月決算のため変更はございません。

2013年3月期 通期業績予想 (連結)

売上高:前期比+22.5%、利益:営業利益で前期比+66.7%

項目/決算別 (単位:百万円)	上期累計				下期累計				2013年3月期(通期)累計			
	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比
売上高	11,007	19,438	8,431	+76.6%	20,825	19,562	▲ 1,263	▲6.1%	31,832	39,000	7,168	+22.5%
売上総利益	1,315	2,617	1,302	+99.0%	2,268	1,956	▲ 312	▲13.8%	3,583	4,573	990	+27.6%
(売上総利益率)	11.9%	13.5%	1.5%	-	10.9%	10.0%	▲0.9%	-	11.3%	11.7%	0.5%	-
販売管理費	1,165	2,145	980	+84.1%	2,167	2,006	▲ 161	▲7.4%	3,332	4,151	819	+24.6%
(販売管理费率)	10.6%	11.0%	0.5%	-	10.4%	10.3%	▲0.2%	-	10.5%	10.6%	0.2%	-
営業利益	150	472	322	+214.7%	102	▲ 52	▲ 154	-	252	420	168	+66.7%
(営業利益率)	1.4%	2.4%	1.1%	-	0.5%	▲0.0	▲0.8%	-	0.8%	1.1%	0.3%	-
経常利益	84	461	377	+448.8%	182	89	▲ 93	▲51.1%	266	550	284	+106.8%
(経常利益率)	0.8%	2.4%	1.6%	-	0.9%	0.5%	▲0.4%	-	0.8%	1.4%	0.6%	-
当期純利益	1,274	201	▲ 1,073	▲84.2%	82	39	▲ 43	▲52.4%	1,356	240	▲ 1,116	▲82.3%
(当期純利益率)	11.6%	1.0%	▲10.5%	-	0.4%	0.2%	▲0.2%	-	4.3%	0.6%	▲3.6%	-

2013年3月期 通期業績予想概要（連結）

売上高 39,000百万円（前期比+22.5%、7,168百万円増収）

…今期より志摩グループが12月決算になるため、志摩日本、志摩香港の損益計上が9ヶ月分となるが、TKRの期間損益の計上が12ヶ月分となるため、EMS事業の売上高は前期比+39.8%増加

● IS事業	9,500百万円	（前期比+1.6%、148百万円増収）
● CS事業	2,400百万円	（前期比▲17.3%、503百万円減収）
● GE事業	600百万円	（前期比▲4.5%、28百万円減収）
● EMS事業	26,500百万円	（前期比+39.8%、7,550百万円増収）

売上総利益 4,573百万円（前期比+27.6%、990百万円増益）

…売上高が前期比で7,168百万円増収となったため

営業利益 420百万円（前期比+66.7%、168百万円増益）

…販売管理費が前期比で+819万円増加するも営業利益率を0.3Point改善（0.8%→1.1%）

当期純利益 240百万円（前期比▲82.3%、1,116百万円減益）

…前期はTKRとの経営統合により負ののれん発生益約11億円が発生したため

2013年3月期 通期営業利益変動主要因について（連結）

<営業利益変動の要因>

IS事業

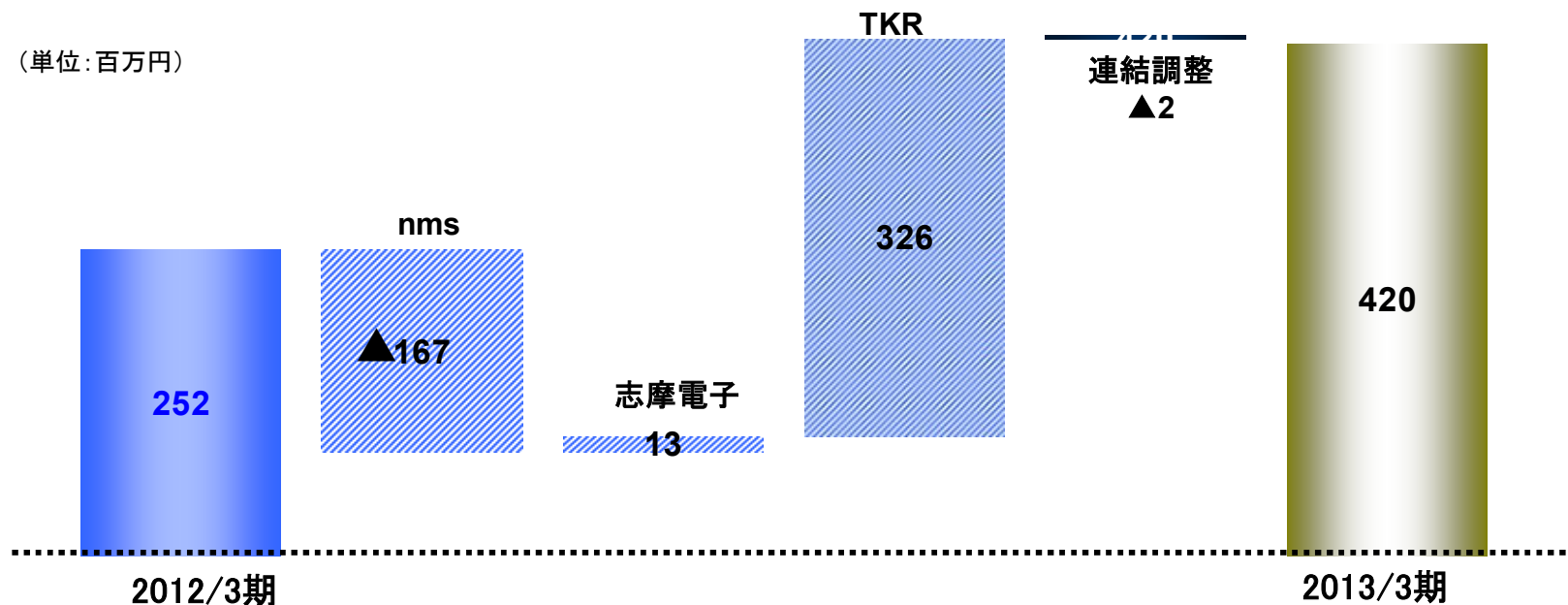
メーカーのグローバルな生産分業体制の中、国内生産が縮小傾向。
急激な生産調整による人員調整コストの発生、メーカー各社からのコストダウン要請により営業利益が当初予想より下回る

CS事業

既存事業の修理台数の減少、新規案件の獲得に至らず

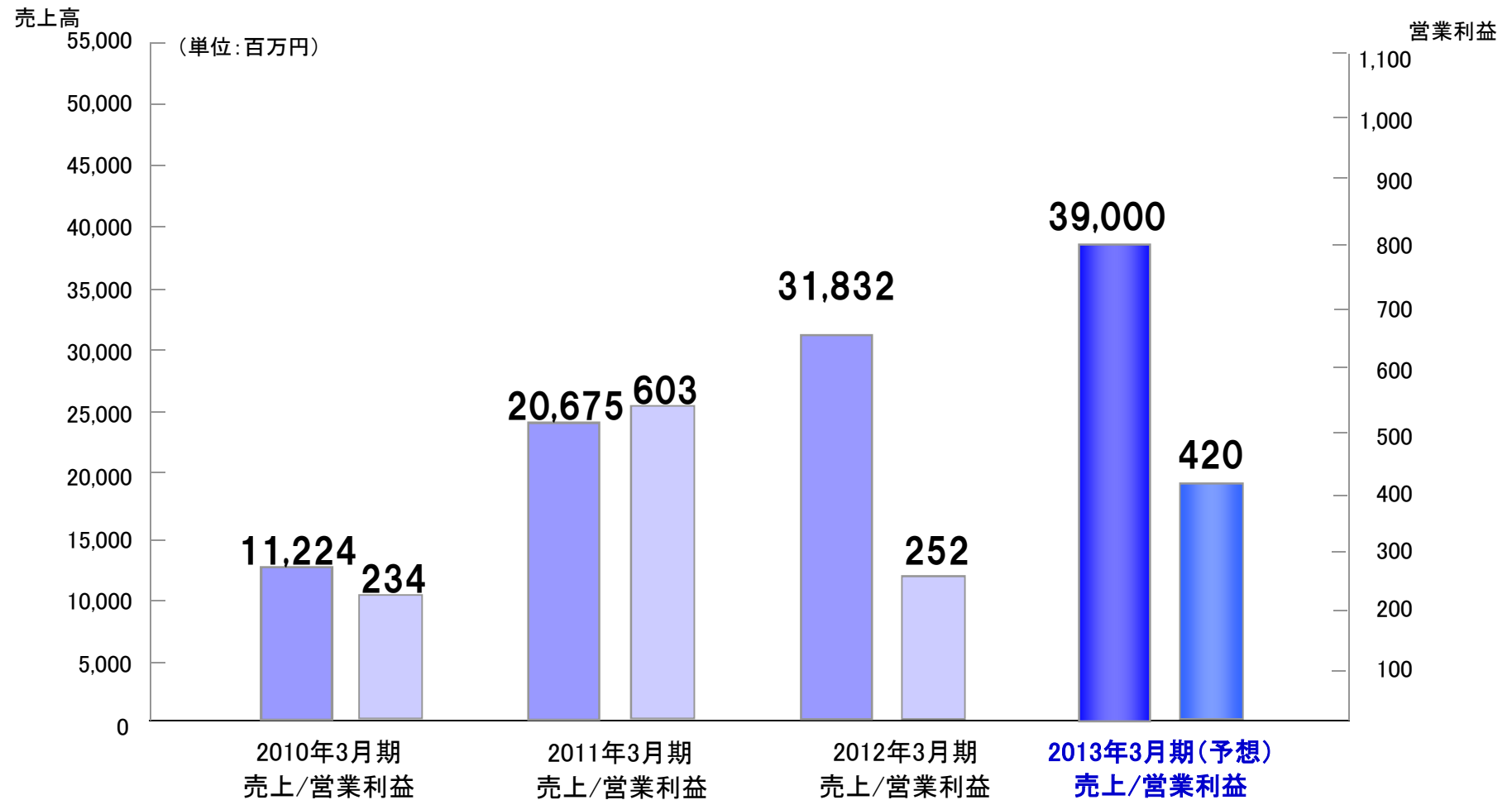
前期営業利益からの状況(前期比: +66.7%、+168百万円増)

(単位:百万円)



2013年3月期 通期業績予想概要 (連結)

売上高:前期比+22.5% **営業利益:前期比+66.7%**



2013年3月期 事業別業績見通し

IS事業

インラインソリューション事業

売上高1.6%増

* 前期通期累計のIS事業のセグメント利益は間接部門費用の配分がなされていないため非表示とする

項目/決算別 (単位:百万円)	上期累計				下期累計				通期累計			
	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比
売上高	4,407	4,936	529	+12.0%	4,945	4,564	▲381	▲7.7%	9,352	9,500	148	+1.6%
(構成比)	40.0%	25.4%	▲14.6%	-	23.7%	23.3%	▲0.4%	-	29.4%	24.4%	▲5.0%	-
セグメント利益	42	3	▲39	▲92.9%	-	▲78	-	-	-	▲75	-	-
(セグメント利益率)	1.0%	0.1%	▲0.9%	-	-	-	-	-	-	-	-	-
現場社員数(人)	2,666	2,853	187	+7.0%	2,796	2,700	▲96	▲3.4%	2,796	2,700	▲96	▲3.4%

CS事業

カスタマーサービス事業

売上高17.3%減

* 前期通期累計のCS事業(旧MS事業)のセグメント利益は間接部門費用の配分がなされていないため非表示とする

項目/決算別 (単位:百万円)	上期累計				下期累計				通期累計			
	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比
売上高	1,491	1,258	▲233	▲15.6%	1,412	1,142	▲270	▲19.1%	2,903	2,400	▲503	▲17.3%
(構成比)	13.5%	6.5%	▲7.1%	-	6.8%	5.8%	▲0.9%	-	9.1%	6.2%	▲3.0%	-
セグメント利益	103	56	▲47	▲45.6%	-	69	-	-	-	125	-	-
(セグメント利益率)	6.9%	4.5%	▲2.5%	-	-	6.0%	-	-	-	5.2%	-	-
現場社員数(人)	756	643	▲113	▲14.9%	684	600	▲84	▲12.3%	684	600	▲84	▲12.3%

2013年3月期 事業別業績見通し

GE事業

グローバル
エンジニアリング事業

売上高4.5%減

* 前期通期累計のGE事業のセグメント利益は間接部門費用の配分がなされていないため非表示とする

項目/決算別 (単位:百万円)	上期累計				下期累計				通期累計			
	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比
売上高	309	314	5	+1.6%	319	286	▲33	▲10.3%	628	600	▲28	▲4.5%
(構成比)	2.8%	1.6%	▲1.2%	-	1.5%	1.5%	▲0.1%	-	2.0%	1.5%	▲0.4%	-
セグメント利益	▲3	4	7	▲233.3%	-	33	-	-	-	37	-	-
(セグメント利益率)	-	1.3%	-	-	-	11.5%	-	-	-	6.2%	-	-
現場社員数(人)	112	107	▲5	▲4.5%	113	110	▲3	▲2.7%	113	110	▲3	▲2.7%

EMS事業

エレクトロニクス
マニファクチャリング
サービス事業

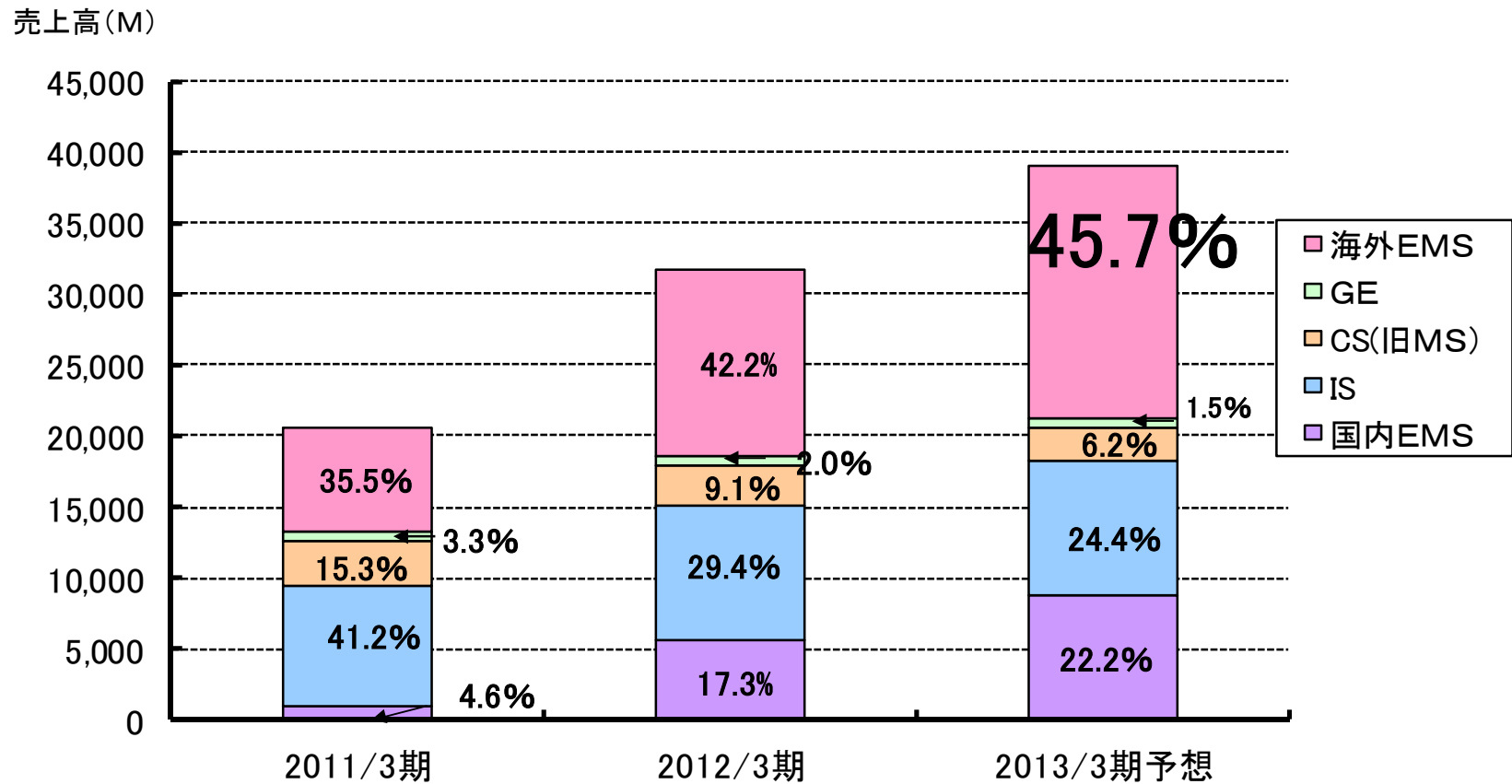
売上高39.8%増

* 前期通期累計のEMS事業のセグメント利益は間接部門費用の配分がなされているため表示

項目/決算別 (単位:百万円)	上期累計				下期累計				通期累計			
	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比
売上高	4,799	12,930	8,131	+169.4%	14,151	13,570	▲581	▲4.1%	18,950	26,500	7,550	+39.8%
(構成比)	43.6%	66.5%	22.9%	-	68.0%	69.4%	1.4%	-	59.5%	67.9%	8.4%	-
セグメント利益	8	408	400	+5,000.0%	7	▲75	▲82	-	15	333	318	+2,120.0%
(セグメント利益率)	0.2%	3.2%	3.0%	-	0.0%	-	-	-	0.1%	1.3%	1.2%	-

事業別売上構成

2013年3月期予想で海外売上高比率約45%



株主還元

**総還元性向(配当+自己株式取得)20%を中長期的目標
配当性向10%を目処に期末配当額を検討**

単位:円/(%)	2010年年3月期	2011年3月期		2012年3月期		2013年3月期 (予想)
配当金(1株)	普通配当	普通配当	普通配当 +特別配当 +記念配当の場合	普通配当	普通配当 +記念配当の場合	普通配当
	100円	200円	400円	300円	400円	300円
配当性向(連結) (単体ベース)	- (4.3%)	2.2% (10.0%)	4.4% (20.0%)	2.2% -	3.0% -	12.8% -
総還元性向(連結) (単体ベース)	- (10.0%)	2.2% (10.0%)	4.4% (20.0%)	2.2% -	3.0% -	12.8% -

* 2011年4月1日を効力日として株式分割(1株5株)を実施したため、上記は分割後換算で表示

* 2011年3月期第2四半期より連結決算をおこなっているため、参考として単体ベースも記載

* 2010年3月期は、自己株式取得(取得金額13,024,540円)を実施



第 3 四 半 期 の 成 果 ・ ト ピ ッ ク ス



中国 製造派遣事業・ベトナム 製造請負事業進捗状況

ベトナム政府との連携強化

中国労働契約法の改正について

中国 製造派遣事業・ベトナム 製造請負事業の 順調な推移



中国

派遣ビジネス拡大のための
管理者・リーダークラス育成
派遣実績 約600名 (12月末時点)



ベトナム

ベトナム進出企業支援
ローカル人材派遣会社と提携

事業展開に向けベトナム政府関係者との関係構築

●ベトナム政府訪問

副大臣との面談内容：

nmsグループのベトナム事業展開に際し、
工業団地の提供、行政手続きの簡素化・
優遇政策などの支援について意見交換

国会副議長との面談内容：

技術者派遣スキーム、アセアン諸国での事業展開
についての協力依頼。WIN-WINの関係になるスキ
ーム構築に向けて意見交換



写真右：労働傷兵社会省
副大臣ファム・ミン・フアン様
左：nms小野文明



写真右：国会副議長 グエン・ティ・キム・グアン様
(元労働大臣) 左：nms小野文明

今回の労働契約法の改正により 派遣から請負へのニーズが高まることが予想

* 2012年12月28日第11期全国人民代表大会常務委員会第30回会議において中国労働契約法の改定が決定。
2013年7月1日より施行

■派遣使用3つの条件を規定(「三性」に関する規定)

- ✓ 臨時的: 6か月を超えない事
- ✓ 補助的: 主要業務を補助する日主要業務であること
- ✓ 代替的: 従業員が休暇・休職等で勤務できない一定期間であること

派遣以外の請負等への
アウトソーシングニーズが
高まる

■労務派遣者の比率を規定(具体的な比率は後日決定予定)

■派遣会社に対する規制

- ✓ 最低資本金の変更 50万元→200万元
- ✓ 施設、労務派遣管理制度を有し、労働行政部門の許認可を得ている事

中国内での人材派遣会社の
健全化、参入障壁が高くなる



参考資料

中期経営計画（抜粋）

2013年2月14日に中期経営計画を公表しております。
詳細は当社ホームページをご参照ください。

使命

**日本特有の技術を伝承する優れた技術者を育成
(人づくり)することでモノづくりの伝統を支えていく**

日本メーカーのニーズを見据えた業界屈指のサービス提供基盤・グループ体制

モノづくりと人づくりを兼ね備えた体制を構築しているのはnmsグループのみ

**日本の製造業の開発・設計から組立、修理に
いたる全プロセスに対してサービスを提供**

**雇用の受け皿となり、メーカー各社、全ての
モノづくりプロセスにおいて人材のSCM
を構築し、人材の付加価値を高めていく**



事業戦略コンセプト「neoEMS」

「モノづくり」と「人材提供の機動性」を併せ持つ

「neoEMS」こそが我々の創るイノベーション (社会的意義のある新しい価値を創造)

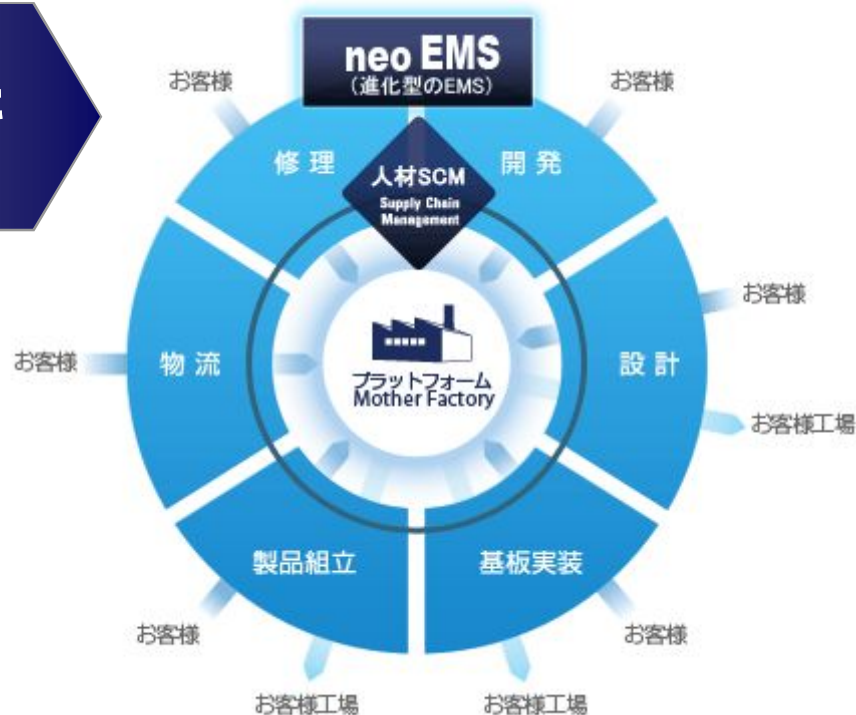
モノづくりと人づくりを兼ね備えた
サービスの提供

「モノづくり」

・・・開発・設計から組立、修理まで

「ひとづくり」

・・・メーカー各社で習熟度をたかめることで
付加価値の高い人材の育成が可能

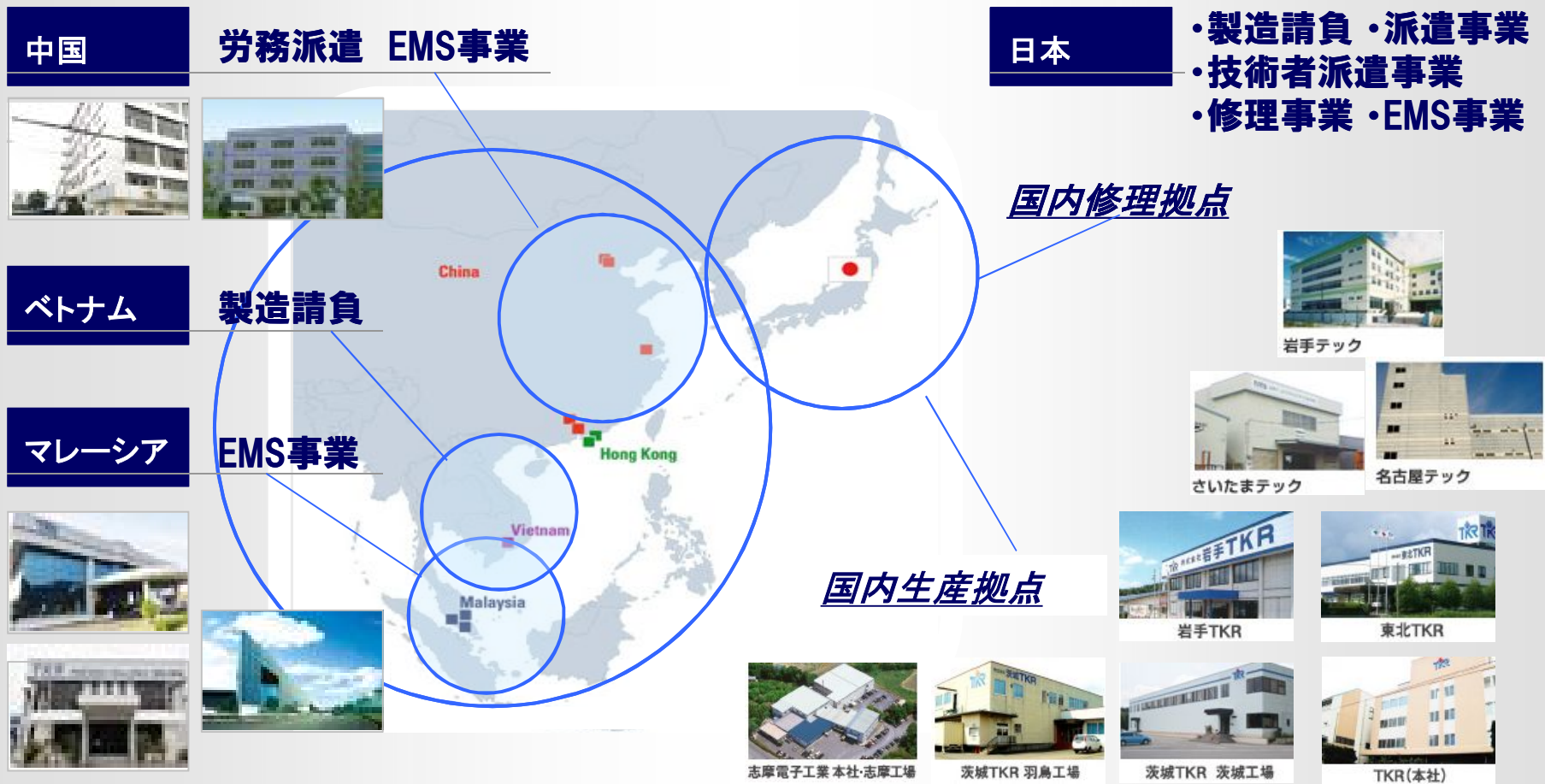


製造アウトソーシング アジア No.1

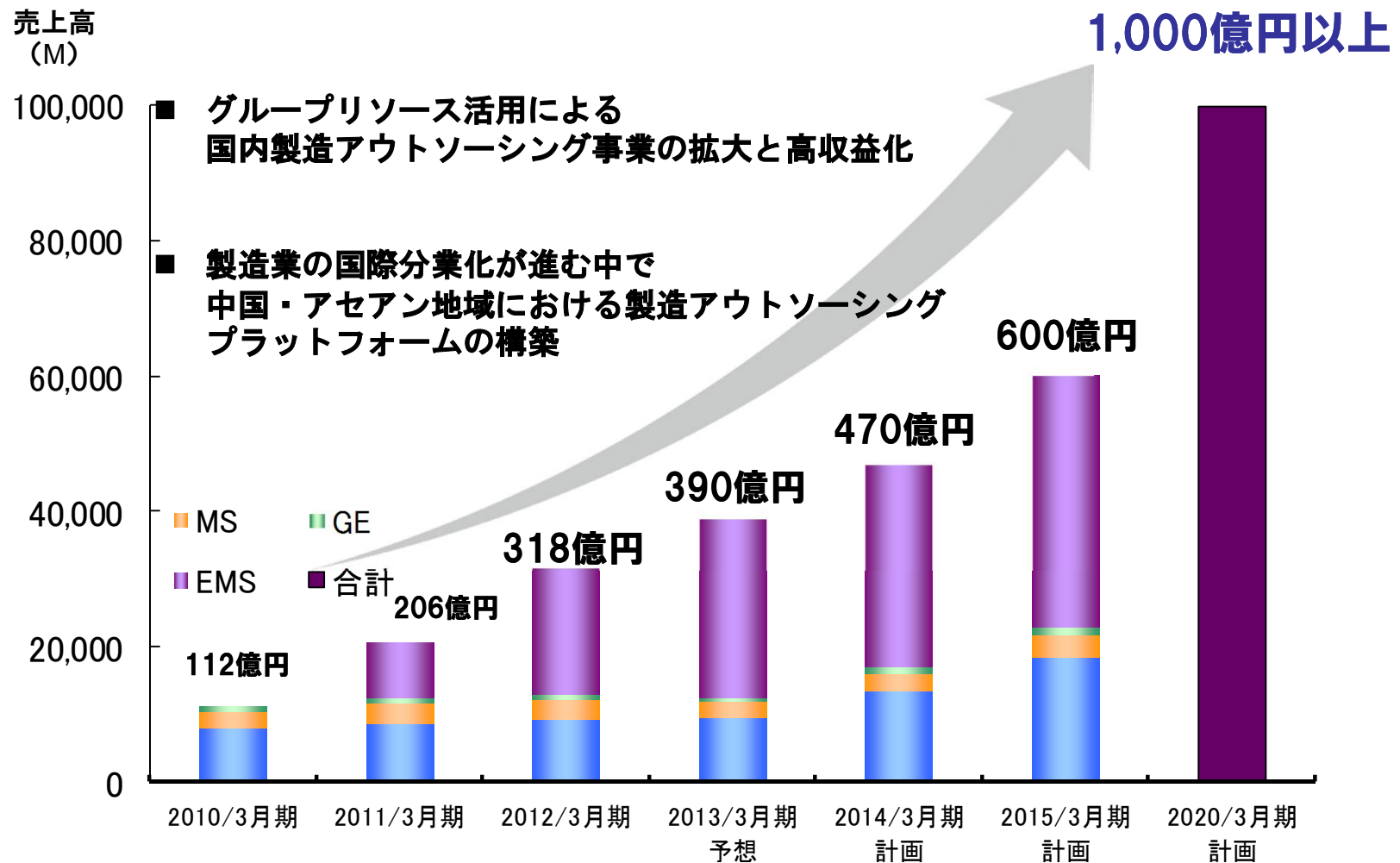
2020年3月期 売上高1,000億円

当社グループのアジアネットワーク

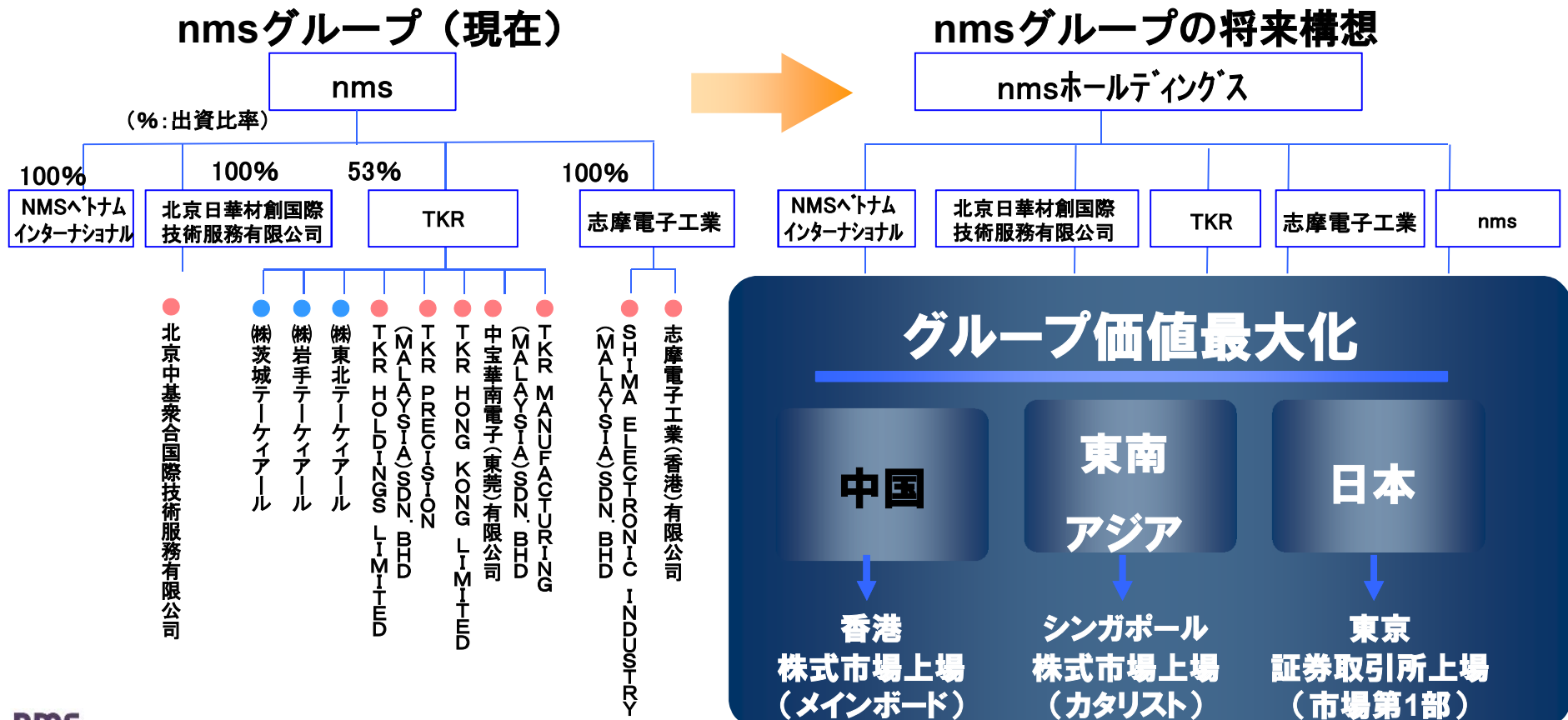
モノづくりと人材サービスが融合したサービスが提供できるのは当社のみ



売上高1,000億円を目指した展開



中国、東南アジアで事業を拡大するために グローバルな資金調達を実現



本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料の中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。

本資料に関するお問い合わせ

日本マニュファクチャリングサービス株式会社

コーポレート本部 広報IRグループ

Tel:03-5333-1711

E-mail:nms-ir@n-ms.co.jp

